

弘前大学  
教育学部紀要

第 109 号

平成25年 3 月

Bulletin of the Faculty of Education  
Hirosaki University

No. 109

March 2013

弘前大学教育学部

Hirosaki, Japan

# 目 次

山形における江戸時代の書籍流通について ……………	郡 千寿子 (1)
—往来物資料の出版地域からの検討—	
弘前市における人口集中地区の拡大と居住特性 ……………	後 藤 雄 二 (7)
扇形領域における熱伝導方程式に対する境界値問題 ……………	伊 藤 成 治 (13)
小学校高学年の造形的特徴「奥行き」に関する一考察 ……………	蝦 名 敦 子 (17)
創られた「津軽」イメージ：津軽三味線と沖縄三線の比較研究 ……………	富 田 晃 (27)
青森県高校女子トップチームバスケットボール部員の内的世界の学年による相違 ……	本 間 正 行 (35)
—風景構成法による分析から—	永 井 雅 彦 藤 田 将 弘 西 尾 末 広
天然植物由来のアントシアニン系色素による絹布の染色 ……………	安 川 あけみ (41)
—染色条件による比較—	小笠原 貴 子
自閉症スペクトラム障害児・者の方言不使用についての理論的検討 ……………	松 本 敏 治 (49)
	崎 原 秀 樹 菊 地 一 文
進路意思決定の合理性とヒューリスティックーどこが問題か— ……………	吉 中 淳 (57)
大学生における完全主義の2側面に関する検討 ……………	大 高 志 歩 (63)
	田 上 恭 子
教員養成カリキュラム改革は卒業時の学生に何をもたらしたか ……………	福 島 裕 敏 (73)
—自我同一性地位を中心に—	豊 嶋 秋 彦 吉 崎 聡 子 平 岡 恭 一 吉 中 淳

# 弘前大学教育学部紀要刊行及び投稿規定

弘前大学教育学部紀要編集委員会

1. 本紀要は本学部で行われた研究の成果を公表することを目的に刊行する。
2. 発行は原則として各年度の10月及び3月の年2回とし、各号はA4版で約150ページとする。
3. 原稿の締切は概ね7月下旬及び1月上旬とする。
4. 論文の著者には本学部の教員が含まれていなければならない。
5. 論文の本文は横書きの和文又は英文を原則とする。
6. 各論文の長さは図表等を含めて刷り上がり10ページ以内とする。なお、印字の大きさは9ポイント活字相当とし、1印刷ページは和文で1行24字、45行の2段組で2,160字とする。英文等の場合は1段組とする。
7. 原稿の作成に際しては所定の執筆要領（別掲）に従うものとする。
8. 掲載順序など、編集に関することは紀要編集委員会が決定する。なお、論文の内容等について疑義が生じた場合、本委員会は著者と協議し、必要があれば訂正等を求める。
9. 原稿の受理後における内容の変更等は認めない。
10. 校正は原則として著者が行い、2校までとする。
11. 論文が11ページ以上に及ぶ場合や、カラー印刷や図版の作製などに特別の経費を要する場合には、その経費は原則として著者負担とする。
12. 刊行経費が予算を超過した場合、超過分を著者の按分負担とすることがある。
13. 別刷を希望する場合は、投稿の際に必要な部数を申し出る。経費は著者負担とする。
14. 本紀要に掲載された論文の著作権は当該論文の著者に帰属する。ただし、本委員会は掲載された論文を電子化し、「弘前大学学術情報リポジトリ」に掲載して公開することができるものとする。

この規定は、平成20年4月から施行する。

## 弘前大学教育学部紀要執筆要領

1. 原稿は、手書きの場合字数が明確になるよう原稿用紙に記載する。また、タイプライターやワードプロセッサ等を用いる場合にはA4版の用紙に印字する。なお、パソコン等による原稿には、使用したハードウェア及びソフトウェアを明記したフロッピー・CD-R等を添付することが望ましい。
2. 原稿には論文題名、著者名及び所属が和英両語で記載されていなければならない。なお、英語に変えて、他の汎用性の高い言語を用いてもよい。
3. 本文の前には同一の言語による要旨（Abstract）及び、キーワードを置く。要旨は和文の場合には400字以内、英文等の場合には120語以内とする。なお、更に別の言語による要旨をおいてもよい。キーワードは数語以内とする。
4. 文献の引用は原則として本文中の該当個所の右肩に片括弧付きの番号で表示し、出典は本文末尾に一括して記載する。その際、雑誌の場合は著者名、論文等の題名、掲載誌名、巻・号、ページ、発行年を、また単行本の場合は著者名、書名、出版社名、ページ、発行年を記載することを原則とする。
5. 印刷に当たって指定したい事項（字体、下線、図表の挿入個所など）は原稿内に朱書するなどして明示する。
6. 図表（写真、楽譜等を含む）はなるべく少数にとどめ、本文原稿中に挿入することは避け、原則としてひとつずつA4版程度の白色台紙に貼り添付する。なお、図表の表題、指定事項等は台紙の端に記載する。また、図表は直接製版できるような明確なものとし、図中に文字などを写植する必要がある場合には明確に指示する。
7. 原稿の提出に際しては規定の「投稿申込書」を添付し、編集委員に確認を受ける。

編集委員会

豊嶋秋彦(委員長)

秋葉まり子

鎌田耕太郎

杉原かおり

弘前大学  
教育学部紀要  
第109号  
(2013年3月)

平成25年3月22日印刷  
平成25年3月27日発行  
編集兼発行者  
弘前大学教育学部  
弘前市文京町1番地  
電話(0172)36-2111(代)  
印刷所 小野印刷  
弘前市富田町52  
電話(0172)32-7471(代)

# CONTENTS

- On the distribution of the books in the Yamagata region at the Edo era :.....Chizuko KOHRI (1)  
Research on "OURAIMONO" documents in consideration of a publication area
- The Expansion of DID and Residential Characteristics in Hirosaki City..... Yuji GOTO (7)
- The boundary value problem for the equations of heat ..... Shigeharu ITOH (13)  
conduction in a plane sector
- A Study of 'Depth' as a Characteristic of Upper Elementary School Art.....Atsuko EBINA (17)
- The Construction of an Image of "Tsugaru" ..... Akira TOMITA (27)  
: A Comparative Study of Tsugaru-jamisen and Okinawa-sanshin
- On the Difference among each grade about the Inner World ..... Masayuki HONMA (35)  
of Female Basketball Players at the Top-Level High school  
Team in Aomori Prefecture Masahiko NAGAI  
Masahiro FUJITA  
-Analysis of The Landscape Montage Technique- Suehiro NISIO
- Silk Fabric Dyeing with Anthocyanins from Natural Plants ..... Akemi YASUKAWA (41)  
-Comparison of Dyeing Conditions- Takako OGASAWARA
- A Theoretical Analysis on Disuse of Local Dialect by.....Toshiharu MATSUMOTO (49)  
Children with Autistic Spectrum Disorder Hideki SAKIHARA  
Kazufumi KIKUCHI
- The rationality of career decision making and heuristics What is the point? ..... Atsushi YOSHINAKA (57)
- Two dimensions of perfectionism and their relation with depression ..... Shiho OTAKA (63)  
in Japanese university students Kyoko TAGAMI
- How the teacher education program reform has ..... Hirotooshi FUKUSHIMA (73)  
affected graduating students Akihiko TOYOSHIMA  
-With special reference to ego-identity status Satoko YOSHIZAKI  
Kyoichi HIRAOKA  
Atsushi YOSHINAKA